

地域の守り手との現場発砂防ミーティング(令和5年度より)

- 国土交通省の砂防事業担当部局と砂防工事の担い手として活躍されている地域建設業並びに都道府県砂防行政との連携強化を目的として令和5年度より実施
- 土砂災害現場で二次災害対策に実際に取り組んでいる地域の建設業者さんから、工事の実態や実践的な工夫事例などについてWEB会議でお聞きし意見交換を実施

●静岡県の事例

・静岡県浜松市長沢地区における災害関連緊急地すべり対策事業に係る主に初期対応について

【開催概要】

●参加者

- ・天龍土木工業(株)(初期対応工事担当)
- ・静岡県(県庁砂防課、浜松土木事務所)
- ・国土交通省砂防部保全課
- ・中部地方整備局河川部地域河川課

●開催日

- ・令和6年1月18日



ミーティングの様子
(静岡県浜松土木事務所)

ミーティングの様子
(静岡県砂防課)



【主な意見等】

- ・モノレールによる機材の搬入を計画していたが、現道が5m程度の狭い幅員でありクレーンで荷上げをおこなうこととした。
- ・スイングヤードという簡易索道を張れる林業機械を協力会社が使用し、河川内の倒木等の撤去がスムーズにできた。土木工事とはいえ初期段階では林業機械の重要性を感じた。
- ・地域の業者は道路、河川、下水、水道、砂防と多種多様の工種に対応しており、年代により需要が大きく変化している中で対応してきている。天竜の業者の特徴としては、自前で直営の手と機械を持っていること。外からの協力会社や応援が容易に見込めない場所や作業内容があるため、直営施工が我々の現場力と思っている
- ・最近では堰堤背面に腹付けを行うケースが多い。現場条件に応じて、山間地ということもあり、ポンプ打設をしたい。砂防堰堤の補修では特にスランプを適切に変えていくという方針で進めるべき。

●和歌山県の事例

・和歌山県日高郡由良町畑地内における災害関連緊急地すべり対策事業に係る主に初期対応について

【開催概要】

●参加者

- ・(株)梶工務店、(有)神谷産業(初期対応工事担当)
- ・和歌山県(県庁砂防課、日高振興局建設部)
- ・国土交通省砂防部保全課
- ・近畿地方整備局河川部河川計画課

●開催日

- ・令和6年4月19日



ミーティングの様子
(対面参加者:和歌山県)

ミーティングの様子
(WEB参加者)



【主な意見等】

- ・現場から国道に出るための工事用道路の幅員が狭く、2tトラックの交互通行による土砂搬出を余儀なくされたため、施工効率に課題があった。搬出土砂については、和歌山県と由良町の調整により、現場近郊に仮置場(ヘリポート)を確保出来たためスムーズに作業を行うことができた。
- ・発生した土砂には廃棄物が混同しており、搬出先でバックホウでのふるい分けや人力による分別を行う必要があり、土砂と廃棄物に分ける作業に苦慮したが、0.45m³、0.25m³、掴み装置付きバックホウの3台による連携作業を行うことによって効率的に分別を行った。
- ・6月2日の災害で強靱ワイヤーネットを使用した対策工法は和歌山県で4か所(L=50m)実施していたが、メーカーでストックしていた数量ギリギリではあったが早急な対応が出来た。メーカーでは過去の広島県での災害を契機に平常時から備蓄資材をストックしておくようにしていた。